



令和6年11月15日

報道機関 各位

上田市立塩川小学校の取り組みが 環境省主催の“環境教育・ESD 実践動画 100 選”に選ばれました。

環境省では、子どもを対象としたSDGsや環境教育、ESDの実践取組の動画について公募を行い、その中から優良事例の動画を選定し、広く発信しています。

この「環境教育・ESD 実践動画 100 選」の事業に、梶子ヴィンヤードを舞台に塩川小学校の児童が行っている環境活動の動画を応募し、“地域×民間×行政×教育機関”が継続して取り組む優良で模範的な事例として社会教育部門に選定されました。

上田市とキリングループの包括連携協定に基づく活動の一環として、塩川小学校の児童4年生・5年生は農研機構上級研究員の指導の下、絶滅危惧種の蝶“オオルリジミ”の唯一の食草である“クララ”を育て、梶子ヴィンヤードに移植することで個体数を増やし、将来的にオオルリジミの舞うぶどう畑を目指す活動を行っています。

近年は地域の自治会・まちづくり会議にも活動の輪が広がり、地域一体となってクララの保全活動に取り組んでおり、地域の田畔にはクララの目印となる黄色い杭が打たれ、地域活性のシンボルマークとなっています。

後日環境省より認定証授与が予定され、優良事例のショーケースとして、広く発信されます。

子どもたちの取り組んできた活動が環境省に評価されましたことを、広く知っていただきたいと存じますので、周知・取材方よろしくお願いたします。

事業の詳細及びその他の選定された動画についてはこちらをご覧ください。

<http://eco.env.go.jp/jissendoga/kokai/>



上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

本件に関する問合せ先

上田市丸子地域自治センター産業観光課

課長 茅野 (担当: 小林)

TEL 0268-42-1037